

## AlertManager へ SystemManager のアラートタイプを登録する手順

本書は、Windows 版マネージャで、AlertManager へ、SystemManager のアラートタイプを登録するための手順書です。

### ● 対象バージョン

本手順は、以下のバージョンについて対応しています。

- SystemManager Ver2.1
- SystemManager Ver2.4
- SystemManager Ver3.0
- SystemManager Ver3.2
- SystemManager Ver3.3

### ● アラートタイプの登録手順

AlertManager へ、SystemManager のアラートタイプを登録する手順は以下となります。

1. アラートタイプを登録するためのレジストリファイルを、ダウンロードしてください。

登録するためのレジストリファイルは、アラートタイプ毎に用意しています。

また、アラートタイプは、バージョンにより異なるため、このレジストリファイルの数は、バージョンにより異なります。

この様に、登録するためのレジストリファイルが複数となるため、バージョン毎に、アーカイブ形式のファイルを提供していますので、バージョンに対応したアーカイブ形式のファイルをダウンロードしてください。Zip 形式で圧縮しています。

バージョン毎に、提供するファイル名は、以下となります。

対応バージョン	提供するファイル名
SystemManager Ver2.1 用	forVer2.1-2.4_WinMG.zip
SystemManager Ver2.4 用	forVer2.1-2.4_WinMG.zip
SystemManager Ver3.0 用	forVer3.0_WinMG.zip
SystemManager Ver3.2 用	forVer3.2_WinMG.zip
SystemManager Ver3.3 用	forVer3.3_WinMG.zip

なお、それぞれのバージョン毎のアーカイブ形式のファイルに含まれるレジストリファイルは、後述の「バージョン毎のレジストリファイル一覧」に記載しています。

2. ダウンロードしたレジストリファイルを実行してください。

ダウンロードしたファイルを展開後、登録したいアラートタイプのリジストリファイルを実行してください。

アラートタイプと、レジストリファイルの対応は、後述の「バージョン毎のリジストリファイル一覧」に記載しています。

(補足) SystemManager Manager を新規に導入する場合は、該当するバージョンに対応する全てのレジストリファイルを実行してください

アラートタイプを登録するためのレジストリファイルの内容は、以下になっています。

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥NEC¥NVBASE¥AlertViewer¥AlertType¥xxxx]
"WavDefault"="Server.wav"
"AniDefault"="Default.bmp"
"Image"="Default.bmp"
"SmallImage"="Default.bmp"
```

xxxx の部分が、新たに登録するアラートタイプの名前となります。

上記のレジストリファイルを実行すると、新たに、以下のレジストリキー xxxx が追加されます。

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥NEC¥NVBASE¥AlertViewer¥AlertType¥xxxx

なお、追加されるレジストリキーの各データは、いずれも文字列型(REG\_SZ)です。

3. 新しく登録されたレジストリキーに、アクセス権を設定してください。

Windows2000、Windows2003 で、レジストリ毎のアクセス権を設定する様になっている場合、新たに追加されたアラートタイプのレジストリキーに対して、以下のアクセス権を設定してください。

前記の例では、以下のレジストリキー **xxxx** に対して、アクセス権を設定します。

**HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥NEC¥NVBASE¥AlertViewer¥AlertType¥xxxx**

アクセス権の設定は、「レジストリエディタ」を起動後、該当するレジストリキーを選択し、メニューの「編集(E)」から「アクセス許可(P)」を選択し、「アクセス許可」ダイアログを表示させ、アクセス権を設定します。

設定するアクセス権は以下となります。

- Administrators                      フルコントロール
- Everyone                            読み取り
- SYSTEM                              フルコントロール
- ESMPRO ユーザグループ (\*)      フルコントロール

(\*) ESMPRO ユーザグループ は、ESMPRO を使用するユーザを管理するためのユーザグループです。既定値は、Administrators です。

ESMPRO ユーザグループは、以下のレジストリに格納されており確認が可能です。

**[HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥NEC¥NVBASE]**

名前 : LocalGroup

任意のユーザグループが指定されている場合は、そのユーザグループにもアクセス権を設定してください。

なお、Windows 版 SystemManager Manager は、インストールの延長で、ESMPRO のインストールを行いますが、ESMPRO ユーザグループは、指定していません。

● バージョン毎のレジストリファイル一覧

下記の一覧で、○は、該当バージョンで、登録が必要なアラートタイプを意味し、前記のバージョン毎のアーカイブ形式のファイルに、レジストリファイルが含まれていることも表しています。

また、レジストリファイルの内容は、バージョン毎に差異はなく、同じです。

レジストリファイル名	登録されるアラートタイプ	Ver 2.1/ 2.4 用	Ver 3.0 用	Ver 3.2 用	Ver 3.3 用
KeepAlive.reg	KeepAlive	○	○	○	○
OpenView_NNM.reg	OpenView/NNM	○	○	○	○
WebSAM.reg	WebSAM	○	○	○	○
WebSAM(COLLISION).reg	WebSAM(COLLISION)	—	○	○	○
WebSAM(CPU).reg	WebSAM(CPU)	—	○	○	○
WebSAM(DISK_BUSY).reg	WebSAM(DISK_BUSY)	—	○	○	○
WebSAM(DISK_IO).reg	WebSAM(DISK_IO)	—	○	○	○
WebSAM(FILESYSTEM).reg	WebSAM(FILESYSTEM)	—	○	○	○
WebSAM(FILESYSTEM_ALL).reg	WebSAM(FILESYSTEM_ALL)	—	○	○	○
WebSAM(INDIV_CPU).reg	WebSAM(INDIV_CPU)	—	—	○	○
WebSAM(INDIV_PACKET_COLLISION).reg	WebSAM(INDIV_PACKET_COLLISION)	—	—	○	○
WebSAM(INDIV_PACKET_ERROR).reg	WebSAM(INDIV_PACKET_ERROR)	—	—	○	○
WebSAM(INDIV_PACKET_D).reg	WebSAM(INDIV_PACKET_D)	—	—	○	○
WebSAM(INDIV_PACKET_O).reg	WebSAM(INDIV_PACKET_O)	—	—	○	○
WebSAM(MEM).reg	WebSAM(MEM)	—	○	○	○
WebSAM(PACKET_ERROR).reg	WebSAM(PACKET_ERROR)	—	○	○	○
WebSAM(PACKET_D).reg	WebSAM(PACKET_D)	—	○	○	○
WebSAM(PACKET_O).reg	WebSAM(PACKET_O)	—	○	○	○
WebSAM(PATCH).reg	WebSAM(PATCH)	—	○	○	○
WebSAM(PERF_START).reg	WebSAM(PERF_START)	—	○	○	○
WebSAM(PROC).reg	WebSAM(PROC)	—	○	○	○
WebSAM(PROC_ALL).reg	WebSAM(PROC_ALL)	—	○	○	○
WebSAM(PROC_AVE).reg	WebSAM(PROC_AVE)	—	○	○	○
WebSAM(PROC_NUM).reg	WebSAM(PROC_NUM)	—	○	○	○
WebSAM(PROC_START).reg	WebSAM(PROC_START)	—	○	○	○
WebSAM(PSW).reg	WebSAM(PSW)	—	○	○	○
WebSAM(READ_CACHE).reg	WebSAM(READ_CACHE)	—	○	○	○
WebSAM(RUSH_STOP).reg	WebSAM(RUSH_STOP)	—	—	—	○
WebSAM(SERV).reg	WebSAM(SERV)	—	○	○	○
WebSAM(SERV_ALL).reg	WebSAM(SERV_ALL)	—	○	○	○
WebSAM(SWAP).reg	WebSAM(SWAP)	—	○	○	○
WebSAM(SWAPPING).reg	WebSAM(SWAPPING)	—	○	○	○
WebSAM(WRITE_CACHE).reg	WebSAM(WRITE_CACHE)	—	○	○	○